

山中だより

山中
キャッチ
フレーズ
してもらおう
させられる人から
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第24号

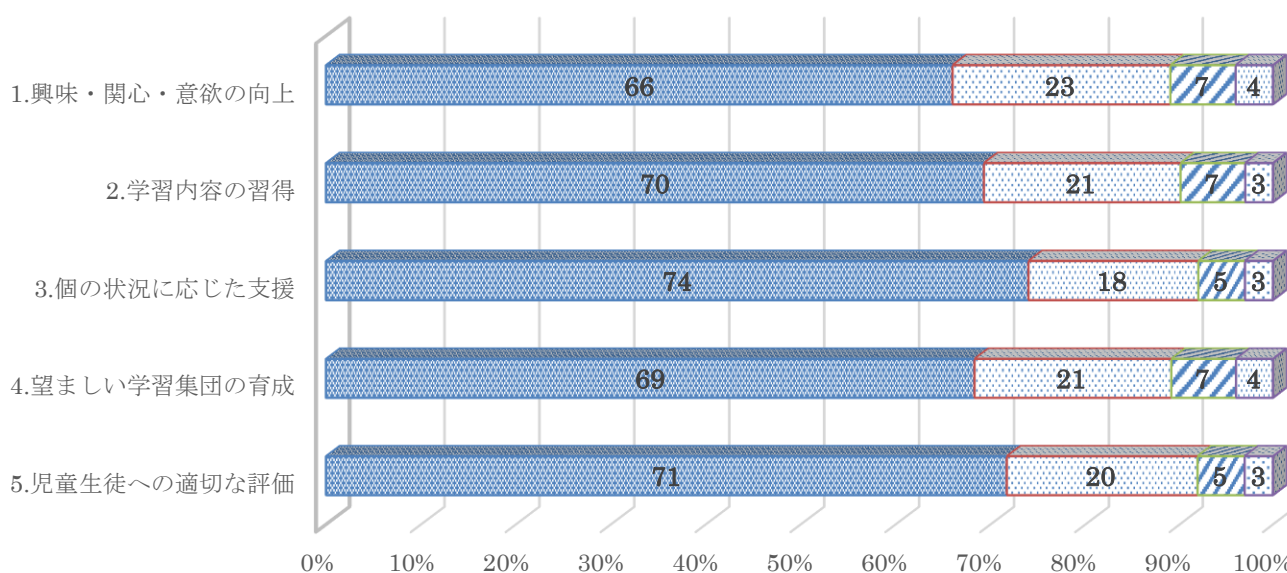
発行 令和3年2月17日 校長 交久瀬善浩

◆授業アンケートの結果です◆

2学期末に学校教育自己診断（結果配布済）・生徒アンケート（学年毎の結果配布済）・授業アンケートと3つのアンケートに協力していただきましたが、その内、集約まとめが最後になった授業アンケートについて、結果をここに掲載します。授業アンケートは昨年度2回実施しましたが、今年度はコロナ禍により1学期の実施ができなかったために、2学期末の1回のみの実施としました。結果についてあまり継続性のあるものではありませんので、今年度分だけの結果を掲載します。

令和2年度授業アンケート結果

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない



各項目のアンケート上の質問

- 1、授業を受けて、その内容に興味や関心や意欲をもつようになっていましたか
- 2、授業の内容が分かるようになっていましたか
- 3、授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらっていますか
- 4、授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか
- 5、授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか

○結果について

各項目ともに肯定的回答（そう思う・だいたいそう思う）の率が9割前後の値となっています。その中で、「そう思う」だけの値で見ると、項目1の興味・関心・意欲の向上と項目4の望ましい学習集団の育成は70%を超えておらず、気になるところです。望ましい学習集団の育成については、今年度コロナ禍の影響でグループ学習が1学期から2学期中盤までほとんどできなかったことが影響していると考えられます。興味・関心・意欲については、生徒が主体性を持っているかに関係するところが大きく、現在も学校生活全体を通して主体性を育てる取組みを進めていますが、まだそれほど成果が出せていないと判断せざるを得ません。次年度から新学習指導要領となり、主体性はますます重要な項目となることから、生徒の主体性を育成するための授業での効果的な取組を、重点的に探求して参ります。

◆1・2年生は、本日から学年末テスト1週間前です。放課後学習会も昨日から始まっています◆

1年生は来週24日(水)から、2年生は25日(木)から、学年末テストが始まります。いよいよ学年の締めくくりです。1年間の学習の総仕上げのテストですから、気を抜かずにテスト前学習に取り組みましょう。特に2学期のテストで反省するところが多かった人は、その時のことを思い出して、同じ思いを3学期も続けなくてよいように計画を立てて取り組みましょう!!



自信のない教科や単元については、教科担任の先生に質問に行くのもいいですが、放課後学習会を利用すると効率よく学習できると思います。放課後学習会は昨日から始まっています。先生も昨日から来てくださっています。学習に自信の持てない人や家庭学習が自分ではなかなかできないという人は奮って参加し、わからないところをわからないまま放っておくことの絶対ないようにしましょう!!

■学習について

「学校における学習は、広く明示された教育目的や教育目標などに基づいて教員が支援するものであり、学習者が主体となって進められる。」

「学習」という単語で検索をかけると、ウィキペディアでは上記のような説明が出てきます。上の説明の中の「学習者」とは当然のことながら、あなた自身です。つまり、学習とはあなた自身が主体となって取り組まなければ、成立しないのです。教師や他の誰かが一生懸命あなたに学習させようとしても、あなたにとっての学習は成立しません。あなたにとっての「学習」は、あなた自身しか成立させることはできないのです。

学習が思うようにできない、机に向えない、集中できない、効率が悪い、これらの原因は考えるまでもなく、あなた自身の心の中にあります。何かが悪いから、誰かが悪いから勉強できないのではありません。どんなに悪い環境であろうとどんなに時間が制約されていようと関係ありません。あなた自身が主体的になって学習に取り組もうとすれば、どんなところでもどんな状況でも学習することはできるのです。なんだかんだ文句を言ったり誰かの責任にするのは、自分の主体性のなさ、自分の心と真剣に向き合えない人が逃げているだけなのです。そんな人は、よく覚えておきましょう。



「逃げの姿勢は、周りの人に言い逃れできても、将来の自分に対しては、一切言い逃れできない」ということ。今のあなたの行いが、すべて未来のあなたに返ってきます。そのこと夢忘れることなかれ!

主体性のない「させられ族」や「してもらい族」になってしまうと、将来の自分の人生を価値のないものにしてしまいますよ。

◆考えてみよう◆

ネット検索していると、次のような記事を見つけました。レタスクラブニュースというところが掲載している記事ですが、とても面白く且つ考えさせられる記事だったので、一部を転載します。

■太古の地球生物にとって酸素は“猛毒”だった!?

人間は酸素がなければ生きていけないし、地球上の生物ならみな同じに思える。ところが、太古の地球には酸素がほとんどなく、それどころか、生物にとって酸素は猛毒だったらしいのだ。誕生したばかりの頃の地球の大気は、二酸化炭素が全成分の96パーセントを占め、現在の20倍ほどあった。

ところが約35億~27億年前、海中に現れたシアノバクテリアが光合成を始めると、地球を覆い尽くすほど繁栄し、その副産物として膨大な量の酸素を放出した。これが現在の大气中の酸素である。(中略)二酸化炭素は激減し、その中で生きていた太古の生物にとっては猛毒ガスである酸素が増える一方だった。当時の生物のほとんどはこのとき死滅した。(中略)しかし、やがて一部のバクテリアが、その猛毒を利用すべく酸素呼吸能を獲得した。そして嫌気性生物(増殖に酸素を必要としない生物)と好気性生物(酸素を利用した代謝機能を備えた生物)の共生関係ができあがり、生物は10倍以上体の大きなバクテリアに進化して、今のミトコンドリアの起源になった。これが、人間を含めた現在の地球上の生物の先祖なのである。

著=雑学総研/「人類なら知っておきたい 地球の雑学」(KADOKAWA)